

【草花の部屋】

アルケミラ (バラ科アルケミラ属 Alchemilla)

和名: ハゴロモグサ (羽衣草) **別名**: レディースマントル **英名**: Lady's mantle

バラ目 多年草 **原産地**: ヨーロッパ、東部～小アジア

花言葉: 輝き、初恋

花の色: 黄



← 写真-1 アルケミラ

撮影日: 2015年07月14日

撮影場所: シーニゲ・プラッテ
高山植物園(スイス)にて

撮影者: M さん



→ 写真-2 アルケミラの花

撮影日: 2015年07月14日

撮影場所: シーニゲ・プラッテ
高山植物園(スイス)にて

撮影者: M さん



← 写真-3 アルケミラの花

撮影日: 2014年06月16日

撮影場所: ケチカン
(アラスカ州)にて

撮影者: M さん

写真-1、2はシーニゲ・プラッテ高山植物園内を散策中に見かけた花です。名札が付いていたので、帰国後、調べて解りました。

写真－3は、アラスカ州南部の街、ケチカン散策後、クルーズ船に戻る途中、民家の庭先に咲いていました。

英名は葉の形が、聖母マリアのマントに似ることから、「レディースマントル (Lady's mantle)」と呼ばれているそうです。

アルケミラは分類のむずかしいグループとされているようで、その一種でもある日本の高山に咲くのが「ハゴロモグサ (羽衣草)」です。

アルケミラ属には200種以上あり、花壇や鉢で利用されるのは、主にモリス種 (*Alchemilla mollis*) だそうです。タネまきや株分けで育てた苗が「アルケミラ」または「レディースマントル」の名前で広く流通し、性質が強く花数も多いので栽培しやすく、園芸品種もいくつか育成されているそうです。グラウンドカバーとして利用される「A・モリス」、「A・アルピナ」や、高性の「A・ロブスタ」、大型の「A・クサントクロラ」などの品種があります。

また、フラワーアレンジメントの添え花などとしても使いやすく、ハーブティーなどにも利用されるそうです。花期は5～7月。

<ちょっと一言>

*ハゴロモグサ属で表記されている書籍もあります。

*シーニゲ・プラッテ高山植物園(アルペンガーデン)は、標高約1950mから2000mの山岳地帯に約600種類もの高山植物が、その植物が本来、生息している環境(岩山、ガレ場、草原など)をできる限り再現した植栽にしているそうです。散策路も整備され、ちょっとしたトレイルも兼ねたような高山植物園。